

英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」
の導入見送りについて（会長コメント）

2019年11月5日

一般社団法人 公立大学協会

会長 鬼頭 宏（静岡県立大学長）

今般、英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」について、2020年度からの導入を見送り、延期することが、極めて唐突な形で文部科学大臣より示されました。公立大学は、この度の入試改革を前向きに受けとめ、受験生に対して混乱を与えないよう配慮しながら準備を進めてきました。このような突然の決定には、驚きを禁じえません。

公立大学は急ぎ、既に予告している入学者選抜方法の内容を見直さなければなりません。受験生を第一に考え、高校及び大学の現場の混乱がさらに深まることのないよう、迅速に今後の方針を示すことを文部科学省に対して強く求めます。

公立大学協会としても、情報を収集しながら順次対応を進めていきますが、大学改革が確かな見通しのないままに進むことのないよう、公立大学の使命と役割に即して考えなおす必要性を強く感じていることを申し添えます。

以上